

よしかわ

No.156

議会だより

平成24年12月定例会



685人の新成人が誕生☆

*10ページに写真説明があります。

主な内容

市民の安全、安心を守るため

暴力団排除活動推進条例を制定 2

一般会計補正予算などを可決 3

常任委員会の審査から 4~5

15人の議員が市政を問う

答えて市長！一般質問 6~9

審議結果・3月定例会の予定 10



平成24年12月定例会

みんなでつくろう！明るいまちを

～暴力団排除活動推進条例を制定～

今定例会は、11月30日から12月14日までの会期で開催されました。市長提出議案18件、議員提出議案6件が上程され、全議案を可決しました。

市長提出議案

暴力団排除活動推進条例を制定、より住み良いまちに

暴力団の排除について、市や市民等の責務を明確にし、暴力団排除活動推進のために必要な事項を定めるものです。これにより、市民生活の安全・安心の確保や社会経済の健全な発展を目指します。

【基本理念】

暴力団の排除活動は、暴力団が市民生活や社会経済に不当な影響を及ぼす存在であることを認識した上で、暴力団を恐れない、暴力団に資金を提供しない、暴力団を利用しないことを基本に、市、市民、事業者の連携・協力の下に推進されなければなりません。

市の役割

県や他市町村等と連携し、暴力団排除に関する施策を推進するとともに、暴力団の排除に資する情報を県に提供します。

市民・事業者の役割

市民や事業者は、市が実施する暴力団排除に関する施策に協力するよう努めます。

美南小学校内に公民館等が4月オープン

美南小学校の4月の開校にあわせ、同校内に地区公民館等を設置する他、同校特別教室の目的外使用が可能となるよう条例を改正するものです。また、児童館ワンダーランド内の「子育て支援サロン」は、4月から美南小学校内で「子育て支援センター」として新たにオープンします。

【施設概要】

美南学童保育室

3クラス（40人×3クラス）

美南地区公民館

洋会議室（2室）、和室

美南地区高齢者ふれあい広場

活動スペース、和室

美南小学校特別教室

音楽室、図工室、家庭科室、多目的室

子育て支援センター

活動スペース、相談室

吉川美南駅西口自転車駐留場 4月から有料に

平成24年10月に吉川美南駅西口自転車駐留場が鉄道運輸機構から市に移管され、市が管理することとなったため、使用料の有料化を4月よりスタートさせるものです。

【使用料】

一時利用（一日一回）

150円

定期利用（月額）

2300円



吉川美南駅西口自転車駐留場

市長等の給料を減額

固定資産税の課税に誤りがあったことが判明し、その責任を明らかにするため、市長・副市長・教育長の給料を2ヶ月間（平成25年1月から2月）、10%減額するものです。



一般会計補正予算(第3号)

衆議院議員総選挙の執行にあたり、緊急に予算措置する必要があることから、歳入歳出予算の総額に、それぞれ2162万円を追加することを専決処分したものです。

専決処分とは、議会の議決が必要な事項を一定の場合に限り、議決をせずに市長自らが決めることです。

一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億2609万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ211億2484万6千円とするものです。

【歳出の主な事業】

● 税務事務事業

(住宅用地に対する固定資産税の過大徴収分の還付金)

1億6588万1千円

● 関小学校プール改修事業

(平成25年夏までに全面改修するもので、平成24年度に3千万円、平成25年度に5915万円を支出)

3千万円

各特別会計等補正予算

一般会計の他、各特別会計等の補正予算も計上され、次のとおり可決しました。

【国民健康保険】

946万2千円追加

【下水道事業】

1208万6千円減額

【農業集落排水事業】

101万2千円追加

【水道事業会計】

収益的収入

3341万円追加

収益的支出

459万6千円減額

資本的収入

1億1100万円減額

資本的支出

1億4445万4千円減額

教育委員会委員の任命

任期満了となる山田陽一氏を再度任命するものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了となる関根剛氏の後任に茂木伸一氏を選任するものです。

議員提出議案

吉川市議会委員会条例及び会議規則の一部を改正

地方公共団体の議会及び長による適切な権限の行使を確保するとともに、住民自治の充実を図るため、地方自治法の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

【主な改正内容】

● 議員は、少なくとも1つの常任委員となることを明記
● 本会議での公聴会開催や参考人の招致ができるよう改正

意見書

上程された3件の意見書すべてを可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。

過労死防止基本法の制定を求める意見書

学費負担軽減と私立大学助成の増額に関する意見書

地方議会の意見書に対する関係行政庁等の誠実処理の義務付けを求める意見書

決議書

上程された1件の決議書を可決しました。

第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議

意見書とは・・・

市民にとって重要なことであつても、それが国などの仕事であり、市では解決できないことがあります。そのようなとき、国や関係行政庁に議会の意見や希望をまとめた文書(意見書)を提出することができます。意見書の提出は地方自治法で定められた地方議会の権限のひとつです。

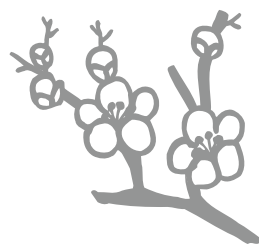
決議書とは・・・

議会としての意思を決定し、それを対外的に表明するものです。決議した文面をどこかへ提出することはありません。



全員協議会が 開催されました

11月9日に全員協議会が開催され、固定資産税の課税の誤りについて、市から説明を受けました。



住宅用地については、地方税法の規定に基づいた課税標準の特例措置を適用しなければなりません。適用されていない土地が存在し、固定資産税が過大に徴収されています。これによる課税の誤りは259件、返還金予定額は、1億6千588万200円となり、最長で20年分が返還されることとなります。

このほか、新庁舎建設の基本となる考え方を示した「吉川市新庁舎建設基本構想」や新庁舎建設に向けた市の庁内組織の設置についても説明を受けました。

常任委員会の審査から

12月5日に総務水道、文教福祉、12月6日に建設生活の議案審査が行われました。
常任委員会での主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務・水道

◆非常勤職員の報酬及び費用弁償の改正

非常勤職員の人数と主任の対象者、労働時間や継続年数は、うち59名が3年以上勤務し、主任の対象となる。労働時間は職種によって違いがあり、最長は1日7時間で週5日間。継続年数の最長は学童保育指導員で20年以上が9名いる。処遇改善向上のため、ま

主任の職を設ける。主任の職を設けることで権限の委譲があるのか。非常勤の再任に際して勤務評価を実施しているか。基準を設けてはどうか。

権限に変わりはない。今後、職を増やした際の判断基準も必要となるので、検討課題とする。

◆市長等の給料引き下げ条例

固定資産税課税誤りの責任をとっての減額だが、基準、根拠はなにか。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

固定資産税の課税誤りの事例は。なぜ20年間もチェックできなかったのか。

課税誤りの事例は、一般住宅用地が適用されていないものなどがあるが、全体像は作業のためきちんとしていない。課税台帳は平成5年から20年間保存しており、それ以前は把握できない。

◆職員平均給料の推移は。

平成23年4月現在の平均給与は33万2800円、年齢は42・3歳で、年々下がってきている。

◆広報よしかわの印刷仕様で変更する点はあるのか。

カラーにするなどの変更はないが、部数の増加と平成26年度の消費税8%で算出している。今後の入札で契約額が決まる。

賛成全員で可決

◆水道事業会計補正予算

石綿管更新事業の進捗は。石綿管布設替は平成30年を目途に終了する予定である。

賛成全員で可決



文教・福祉

◆学童保育条例等の一部を改正する条例

改正内容と、美南学童の児童数見込みは。

美南小開校に伴い、併設される美南地区公民館の名称及び位置、施設使用料について公民館条例の一部を改正するもの。また、吉川市立吉川小学校特別教室使用料条例についても、名称を吉川市特別教室使用料条例と変更し、美南小学校特別教室を規定に加え



完成が間近となる美南小学校

一部改正である。美南学童については、1クラス40名で3クラス整備しており、120名の定員。現時点での入室希望児童数は53名である。余裕を持って整備しており、人数増にも対応可能である。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

少年センター費分工事請負費の補正内容は。

昭和62年に設置した「あいさつ運動」の看板6箇所が老朽化したため撤去するもの。「あいさつ運動」そのものは精神を受け継ぎ、推進していく。

建設・生活

賛成全員で可決

るものである。

◆一般会計補正予算

道路公園安心安全パトロール委託料が減額だが、今後のパトロールはどうなるのか。

緊急雇用で行っている事業で、契約額が確定したことにより減額となった。安心安全パトロールは平成25年2月まで行っていく。

◆ごみの減量化への取り組みの状況はどうか。

ごみの総排出量は人口の伸びに伴い増えているが、市民1人当たりの排出量に換算すると、減少している。



市民の協力により、ごみ排出量は減少傾向に

常任委員会合同行政視察を行いました(10月15日~16日)

10月15日に神奈川県相模原市を訪問し、現在進められている相模原駅周辺開発によるまちづくりについて視察しました。

また、翌日には、静岡県富士宮市を訪問し、フードバレー構想(食によるまちづくり)や、債権回収対策、福祉総合相談支援事業について担当者から説明を受けました。

議会広報研修会に参加しました(11月22日)

埼玉県町村議会議長会主催による議会広報研修会に5名の広報委員が参加しました。今後の議会だよりに研修の成果が生かせるよう取り組んでまいります。



ようこそ、吉川市へ!
他市議会が吉川市を訪問(10月~11月)

調査・研究のため、左記の議会が視察に訪れました。

【秋田県能代市議会】

吉川市健康増進計画について・図書館への指定管理者制度導入について

【千葉県富津市議会】

休耕田を利用したなまますの養殖について

【岐阜県関市議会】

病児・病後児保育事業について

7mのうち整備済が900mで約55%、残延長は約727m。

賛成全員で可決

関小学校プールの改修に至った経過と他の予定は。

築後年数が経過し、修繕の回数が増えたため全体的な改修を行うことにした。この他に北谷小学校のプールも改修の必要はあるが、劣化の状況等を総合的に判断し、関小を優先させた。次は北谷小と考えている。

◆小学校施設修繕費の内容は。

吉川小体育館のドアの修理、栄小ペランダの壁の修理。学校給食センターの光熱水費増額の理由は。

野菜の洗浄が50kgを超えたら水を交換することにした。釜の洗浄方法を変えるなど、より安全・安心のためにマニュアルを改正し、全ての調理場で統一した対策をとることにしたためである。

高齢者配食サービス委託事業の一人暮らし高齢者見守りとしての役割は。

配送員が直接利用者に食事を手渡しすることにより、見守りとしての機能を果たしている。平成23年度は1件、配達員による異常発見から緊急搬送に繋がった。

賛成全員で可決

◆暴力団排除活動推進条例

市民は暴力団の嫌がらせに對し、どこに相談すればいいか。相談先として吉川警察署や埼玉県暴力団追放・薬物乱用防止センターがある。

賛成全員で可決

◆自転車駐車場条例の一部を改正する条例

吉川美南駅自転車駐車場は、西口、東口とも4月1日から有料なのか。この設備で一時的に利用150円は高いのでは。

西口のみ有料化する。150円は定期利用料と吉川駅の状況から設定した。駅に非常に近いためそれほど高くないと考えている。

賛成全員で可決

◆財産の無償譲渡について

吉川美南駅設置に伴い必要となった鉄道用地は、なぜ市を経由してJRへ譲渡するのか。

JRと市が締結した協定による。鉄道運輸機構から市が寄付を受けJRへ無償譲渡す



相模原市担当者より説明を受ける

中央土地区画整理地内の3
31越谷吉川線の進捗状況と
残延長はどのくらいか。

12月現在の進捗は、中央土地
地区画整理地内の延長162



答えて市長！

一般質問

一般質問は、12月12日から14日の3日間にわたって行われました。

質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館等で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、3月上旬となります。

未来を育む児童福祉の推進について

中嶋 通治

問 近隣の自治会で高齢者と育児をしている母親との交流があり、子育て支援に重要であると考えますが、見解は。

答市長 「ふれあいサロン」は、高齢者の方には社会参画の場として、大変有益であり、他の団体にも周知し、多くの団体を世代を超えた交流事業を実施できるよう支援します。

◆ホームスタート事業の取り組みについて

問 6歳以下の乳幼児がいる

家庭に、定められた研修を受けたボランティアが週1、2回2時間程度、無償で自宅を訪問し、子育ての悩みを受け止め、子供と遊んだり、共に家事をし、子育ての悩みを聞き、親の自信の回復等を目指す事業ですが、当市に於いては、どの様な考えをされているのかをお尋ねします。

答市長 新しいスタイルの子育て支援策として、有効であると認識しています。地域の人と人との温かい連携の中から、親が安定を取り戻し、子育てを原因とした孤立や、児童虐待の予防につながるものと考え、平成25年度から取り組んで参ります。

防犯灯LED化を経費削減効果の高いリース方式で

互 金次郎

問 東日本大震災を機に、エネルギー政策の転換と、逼迫する電力事情から省エネ対策の推進が重要な課題となっています。LED照明の導入は、省エネ対策として有効であると同時に財政負担の軽減も図ることができません。最近

では防犯灯などのLED化をリース方式により更なる財政負担の軽減を図る自治体が増えていきます。

当市も経費削減効果の高いリース方式で防犯灯のLED化を推進すべきでは。

答市長 防犯灯のLED化は経費削減と地球温暖化防止施策の両面で効果が期待できます。

答市民生活部長 紹介された先進的な事業も参考にしながら、LED化の推進に向けて取り組みます。

◆接遇向上で、おもてなしと思いやりの市役所を

問 職員の接遇向上に向けた今後の取り組みは。

答市長 接遇の重要性は認識しています。品質マネジメントを活用し継続的に接遇能力のレベルアップを図ります。

新生吉川美南高校へ支援を

小野 潔

問 平成25年4月1日より吉川美南高等学校が開校する。「新校は、1部（昼間部）はビジネスクラスと進学クラスが

あり、自分の進路希望に応じて選択が可能となりました。中でも進学クラスは80人を3クラスで展開する少人数学級編成できめ細やかな徹底した進学指導を行います」と遠藤校長は抱負を語る。開校3年が評価の分れ目です、市ではどの様に支援していくのか。

答市長 悪いイメージを最初から作らないように意欲を持った子供達を保護者の理解のもと送りだし、良い形でスタートさせたい。市としても強くアピールし協力していく。

問 美南地域の防犯体制の充実について①美南駅前交番設置の進捗状況。②美南地域における「防犯灯の計画的な設置と維持管理」とは。

答市長 ①新設の為に市内2ヶ所にある交番の1ヶ所を廃止することが前提になっているが、県と協議していく。

答市民生活部長 ②24年度10灯、25年度20灯の計画だが、その後は市全体の防犯灯LEDリース契約の検討時に考慮していく。

「子ども・子育て関連3法」の成立を受け積極的な取り組みを

五十嵐 恵千子

〔問〕 関連3法の成立で子育て予算が1兆円超増額の約束がされた。本格実施は早ければ平成27年度だが、この財源を活用し「認定こども園」をはじめ、小規模保育や家庭的保育などを含む多様な保育の充実や保育士の処遇改善等、さらに支援拡充が図られる。

〔答〕 当市の本格実施までのスケジュールは。また、現場の声を反映させる「ニーズ調査」や「子育て会議の設置」を。

〔答〕 市長 平成25年度の後半から「ニーズ調査」を行うほか、「地方版子ども・子育て会議」を設置する方向で検討する。それらの検討結果を踏まえ、平成26年度前半までに計画案を固め、県協議の後に当市の事業計画案を確定したい。

◆さらに投票しやすい環境を
〔問〕 ①期日前投票宣誓書の事前配布を。②選挙広報のホームページ掲載を。③吉川情報サービスセンターコアへ期日前投票所開設の早期実現を。

〔答〕 総務部長 ①早期実現に向け検討する。②今後、市で執行する他の選挙も、選挙広報の市ホームページへの掲載を行う。③引き続き検討。



現在、期日前投票は市役所のみで実施

都市農業・農地保全へ必要な施策は

高野 昇

〔問〕 国交省、農水省において市街化区域内農業・農地を重視する方向に転換の議論が相次いでいるが市の捉え方は。

〔答〕 市長 食の安全や食育への関心の他、都市の中にあっても、自然と調和した快適で安全な環境の下で暮らしたいというニーズの高まりなどから審議会等において検討されているものと思います。

◆TPP交渉に参加反対を
〔問〕 十分な情報開示が必要と

いうが、TPP交渉の内容は4年間は秘密扱いにされる事がニュージーランド政府の文書で明らかになっているが。〔答〕 政策室長 諸外国で行われている交渉について市がとやかかという問題ではない。

◆生徒会費、PTA会費等も就学援助の対象に

〔問〕 文科省が新たに、PTA会費、生徒会費、クラブ活動費を就学援助の支給対象としたが、市では未だに支給していない。一日も早い支給を。〔答〕 教育長 今後、生徒会費、PTA会費に関わる経費を支給対象とすることについて検討していきます。

吉川市の地域コミュニティ施策について

中村 喜一

〔問〕 多様なコミュニティの課題について市長の見解は。

〔答〕 市長 時代の進展とともに、相互扶助が希薄化している。地域コミュニティの中で住民の様々な交流機会の拡大が求められていると考えている。

〔問〕 地域コミュニティ対策の

あり方について市長の考えは。〔答〕 市長 退職を迎えた世代が地域に戻りつつある。地域に不慣れた側面もあるが、豊かな経験やノウハウを地域社会に生かすことが必要で、参加を促すためのセミナーや講座の開催を検討していく。

〔問〕 コミュニティ振興のため支援分野を拡大すべき。

〔答〕 市長 地域コミュニティの振興、活性化には新たな取り組みが必要と考え、自治連合会と連携しながら、アンケート調査を随時実施している。結果の分析をふまえ、あらたな支援分野を検討していく。

〔問〕 地域の伝統まつりなどに對する支援のあり方は。

〔答〕 市長 担い手不足の解消や地域の伝統行事の活性化のためには、地域のコミュニティ活動の活性化が大切と考え。市の自治会交付金や活動補助金を活用して欲しい。

「フロリデーション推進活動」は直ちに中止を！

稲垣 茂行

〔問〕 「フロリデーション」については、必要性・安全性・

有効性について疑問があり、市民の間にも根強い反対の声があります。多くの市民に不安を与え、対立と混乱を招いている市のフロリデーション推進活動は、直ちに中止すべきと考えます。

〔答〕 市長 WHOをはじめ世界の医学・歯学で認められているむし歯予防に有効な手段で、公衆衛生的に優れた方法だと考えている。しかし、市民や関係団体の理解を得ることが最優先と考え、フッ化物応用の正しい情報提供と今後のあり方を議論して頂くため、フッ化物応用協議会を設置した。最終的には、市民の意見を十分拝聴した中で、合意をいただくことが大前提。

〔問〕 フロリデーションの最大の問題は、選べないこと。個人の選択権を奪い、基本的人権を侵すものでは。

〔答〕 健康福祉部長 「飲みたい、飲みたくない」という両方の選択権がある。公共の福祉として、どちらを取るかという意思決定をする必要がある。まだ議論の段階なので、判断するのは早いと思う。

コミュニティ活動推進へ 条例見直しを研究

降旗 聡

効であります。今後、関係団体などと調整を図りながら、条例の見直しを研究していきたい。

(問) コミュニティ活動の推進には、自治会活動の拠点施設の整備・充実が求められています。現在も、美南地区などの方々から集会所設置についてご意見を頂いています。現行制度では、迅速な対応が難しく、今後も吉川美南駅東部などの開発が進むことから、「吉川市まちづくり整備基準条例」の見直しが迫られていると考えます。「開発者の責務で、公益施設（集会所及び集会所）の設置」を明記するなど、まちづくりについて市民と開発者、市が協働して「住み良さ日本一」をめざしてはいかがでしょうか。

(答)市長 集会所などの公共施設の整備・充実の必要性は認識しています。近年の大規模開発により市街地を形成した地域では、集会所を整備するための用地確保が困難であり、入居開始後、急激に世帯数が増加し、新たな自治会が組織されるので、事前に集会所が設置されていることは有

介護保険―生活援助 時間短縮の影響は

小林 昭子

(問) 市内利用者の時間変化は、

(答)健康福祉部長 現在生活援助サービスを利用している人は58人で昨年より5名増えている。一回の利用時間の内訳は、「60分未満」の方は昨年43人だったが今年はその内38人が「45分以上」に、5人が「45分未満」に変更した。昨年「60分以上」の利用の方は11人だったが、全て「45分以上」に変わった。市として、サービスが足りない時は、日常生活サポートサービス等の市単独事業があるのでケアマネから相談があれば利用を勧めていく。個々のケアケースの変化を見ていかないと大きな変化は調べられないが利用時間の不足はないと考えている。

(問) 掃除、洗濯、食事作りに不便が出て利用者は受け入れざるを得ない。もっと実情

がわかるシステムが必要だ。(答)健康福祉部長 今後地域で個別のケア会議を立ち上げていきたい。困難ケースについて地域、民生委員、ケアラー(家族介護者)を含めてケアマネジメントで様々な介護の問題を見つけ出し適切なケアマネジメントを指導する。

消費税増税に反対を

佐藤 清治

(問) 民主党、自民党、公明党の密室談合によって消費税の増税が強行されました。いま求められているのは消費税の増税ではなく無駄の削減はもとより、大企業への優遇税制をたたくこと、証券優遇税制の廃止、所得税、住民税の最高税率を1999年の減税前に戻すことをはじめとする富裕層にきちんと課税するような抜本的な税制改正をおこなうことです。市長は消費税の大増税に明確に反対し市民生活を守る先頭に立つべきであり、見解を求めます。

(答)市長 実施にあたっては法案でも景気回復が大前提であ

り、東日本大震災などに配慮するとともに低所得者への対策について国会で十分議論していただき、国民の理解を得られるよう考えてもらいたい。

中の道路や未着工の完成時期と見通しは。きよみ野中心部を通る関谷野谷線は大型車の通過道路となり、住民は振動等に悩まされている。対策をとるべき。

◆駅南二郷半緑道の雑草対策は

(問) 第2期工事がおこなわれている。第1期工事区間について「せっかく金をかけて整備したのに雑草がひどい」と苦情がよせられている。

(答)都市建設部長 今後は状況を見ながら予算の範囲で実施回数を検討する。

◆平成25年度の重点施策は

(問) 市民は、生活のきびしさと将来不安を多く抱えている。市の来年度の事業の重点はなにか。不安定雇用改善などを政府に求めるべきである。

(答)市長 防災のまち、子育て支援など重点施策を着実に実施する。美南小学校で開設される子育て支援センターの運営、子ども医療費無料化など引き続き取り組む。労働者派遣法が改正されたが、見送られた製造業の登録型派遣などの改善が必要で、国の動向を見守る。



適切な雑草対策が求められる(二郷半緑道)

道路整備をすすめる 住みやすい街に

遠藤 義法

(問) 住みやすい環境づくりに道路整備は欠かせない。工事

見守る。

若者世代が参加できる「街づくり」について

稲葉 剛治

問 若者世代が「考える事、創る事、提案する事」が出来る機会」の創出について。

答 市長 若い方たち自らが積極的にならざるに、参加し、企画提案していくものであると考える。そのような若い方達からの提案があった場合、できる限り支援していきたい。

問 若者をはじめ市民に意見を募集するようなコンペ方式のような事は出来ないか。

答 市民生活部長 市民活動団体と市が協働して課題を解決しようとする「協働事業提案制度」の準備を進めている。このような制度の活用を検討してほしい。

◆災害時のアレルギー患者の対策について

問 災害時のアレルギー患者への対策状況、今後について。

答 市民生活部長 食品衛生法等に定められた食品表示がされている備蓄食料を購入する等アレルギーがある方の避難生活に配慮していく。一方、

食物アレルギーは多種多様であり、アレルギーのある方が、自らの症状と摂取する食物に対するリスク管理をして頂く事も必要と考えている。

吉川市役所建設は最小限の床面積とし、少ない金額に再検討を

齋藤 詔治

問 今日のエコ不況・先の見えない社会状況です。今は大きな建物を造るより、先ず市民への行政サービスが大事です。予定している新庁舎規模8200㎡を4千㎡ほど、概算事業費35億円を17億円に縮小しては如何か。

安心・安全・活力あるまちづくりに向け、行政執行者として、再検討をお願いします。

答 市長 当市としては、基本構想に示した新庁舎建設が最善の策であり、建設推進には、将来にわたるライフサイクルコストの抑制に努めて参ります。

◆美南小学校建設外構工事の入札不調は如何したのか

問 本年8月、10月、11月に行われた一般競争入札は、全体2社のみの参加で不調。そ

の後3つの工区にての分離入札は、1工区再不調等。なぜこんな結果になるのか。市民の税金で実施するのである。公正で公平な入札であったのか。

江戸川堤防を「森と林」に

伊藤 正勝

問 江戸川、中川、大場川。国の予算で整備が進む。これをまちづくりに活用する。江戸川は堤防強化のため、全面的にのり面が2倍以上に拡張される。深井新田には「県の森」として550本の植樹。

企業の協賛で別途1千本のどろぐりの苗木も。この機会に堤防全体を森や林にする夢を描いて、一歩先んじて踏み出してはどうか。

答 市長 植林や管理については地元が協力して育て、できるだけ自然にちかい形でという考えだ。吉川市域だけでも8キロ。市としても民間の活

用や地域の協力で進めていければと考える。今後の課題だ。

問 新庁舎建設。取り組みの基本的考えを確認したい。

答 総務部長 3月までに基本計画案を策定。その後再度市民の意見を求め、基本計画をもとに基本設計、実施設計。26年度に着工。28年度竣工に向け準備する。まず庁舎の位置、スペースや本来の役割を踏まえた配置。その上で議会棟を含め、多目的な利用についても、夜間、休日の活用も視野に総合的に検討を進めることになる。

吉川駅前及び駅周辺の歩道の段差解消を

加藤 克明

問 吉川駅前や駅周辺の歩道は、平板ブロックや目の不自由な方のための点字ブロックに段差がある。安全を確保するため、早期の段差解消を。

答 都市建設部長 駅前や駅周辺は景観に配慮した平板ブロックを活用した歩道整備をしており、平板ブロックや点字ブロックは構造的に経年劣化などにより、段差やガタつき

などが生じることもある。支障のある箇所については、12月末までに補修をしていく。



経年劣化による段差の解消を

◆中川河川改修について

問 中川河川改修に伴う多目的広場について、その後の計画は。

答 都市建設部長 以前より江戸川河川事務所に広場として整備要望を行ってきた。他にも、階段や傾斜路、歩道やグリーンベルトの設置、速度、徐行などの注意喚起の看板、防犯灯の設置など要望は把握している。現在、堤防工事が行われ、完成後の旧堤防の撤去や河道の掘削は整備状況を見て行うため、整備時期は未定。河川敷の利用については、整備状況を常に把握し、適正な時期に調整していく。

審議結果

○=賛成、×=反対、* =一部反対、△=一部退席

議案名	議決結果	自・み	共産	公明	改革	無所属
専決処分事項の承認について	原案可決	○	○	○	○	○
災害対策基本法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市暴力団排除活動推進条例	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市自転車駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市学童保育条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市子育て支援センター条例	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○
市長等の給料の特例に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○
埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決	○	○	○	○	○
財産の無償譲渡について	原案可決	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○
吉川市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○
過労死防止基本法の制定を求める意見書	原案可決	○	◎	○	○	○*
学費負担軽減と私立大学助成の増額に関する意見書	原案可決	○	◎	○	○	○
地方議会の意見書に対する関係行政庁等の誠実処理の義務付けを求める意見書	原案可決	◎	○	○	○	○
第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議	原案可決	◎	×	○	○	○

自・み=自民・みらい、共産=日本共産党吉川市議員団、公明=公明党吉川市議員団
 改革=市民改革クラブ、◎=意見書・決議を提出した会派

編集後記

厳冬の候、市民の皆様には、お元気にお過ごしのことと存じ上げます。私たち市議会議員も、皆様のご期待に添うべくしっかりと今定例会に取り組みました。市長から提出された議案は、それぞれ慎重に審議され、すべての議案が可決しました。また、市民の皆様の声を代弁する一般質問も、活発な質問と答弁のやりとりの中に終了しました。

今後におきましても、市民の皆様「吉川市に住んでよかった」、「吉川に生まれてよかった」と言われるようなまちづくりを行ってまいります。

どうぞこれからもよろしくお願い致します。

野口 博

表紙写真の説明



1月13日、中央公民館で成人式が行われました。吉川市では685人が新成人となり、483人が式典に出席しました。新成人で組織された成人式実行委員会(上記写真)の企画・運営により、和やかな式となりました。

～議会を傍聴しませんか～

3月定例会の予定

- 2月26日(火)
本会議(開会日・施政方針)
- 2月27日(水)
本会議(代表質問)
- 3月1日(金)
本会議(議案審議)
- 3月4日(月)
本会議(議案審議)
- 3月6日(水)
委員会(議案審査)
- 3月7日(木)
委員会(議案審査)
- 3月8日(金)
委員会(議案審査)
- 3月11日(月)
委員会(議案審査)
- 3月12日(火)
委員会(請願審査)
- 3月14日(木)
本会議(委員長報告)
- 3月18日(月)
本会議(一般質問)
- 3月19日(火)
本会議(一般質問)
- 3月21日(木)
本会議(一般質問・閉会日)

- 発行 吉川市議会(平成25年2月1日)
- 編集 吉川市議会広報委員会 〒342-8501 埼玉県吉川市吉川二丁目1番地1
- ホームページアドレス <http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>
- TEL&FAX 048-982-9421
- 「よしかわ議会だより」のテープ版は、朗読サークル「きんもくせい」の協力で作成しています。